



CHAPTER 4

NAM - WAAS 統合の設定

この章の内容は、次のとおりです。

- 「NAM VSB にフロー情報を送信するための WAAS の設定」 (P.4-1)
- 「NAM での WAAS データ ソースの設定」 (P.4-2)
- 「NAM VSB での WAAS モニタリング対象サーバの設定」 (P.4-4)

ここでは、NAM VSB にフロー情報を送信するために WAAS をイネーブルにする方法、NAM での WAAS データ ソースの設定方法、NAM VSB での WAAS モニタリング対象サーバの設定方法について説明します。

NAM VSB にフロー情報を送信するための WAAS の設定

WAAS トラフィックをモニタするには、まず NAM VSB に WAAS フロー レコード データをエクスポートするように WAAS デバイスを設定する必要があります。

CLI の使用

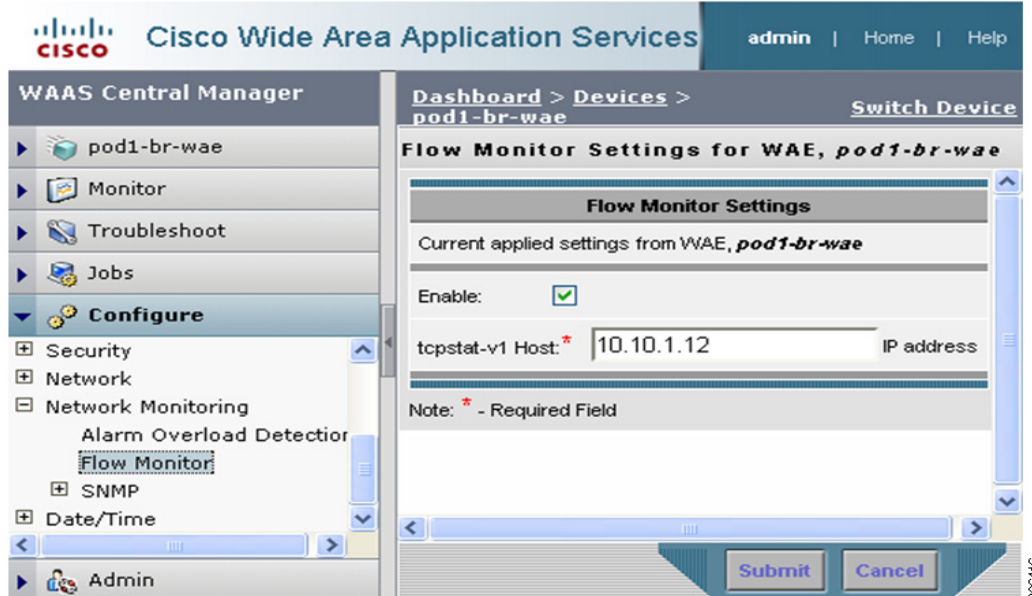
次のように、次の WAAS CLI `flow monitor` コマンドを使用します。

```
config t
no flow monitor tcpstat-v1 enable
flow monitor tcpstat-v1 host <NAM-IP-ADDRESS>
flow monitor tcpstat-v1 enable
end
```

WAAS Central Manager GUI の使用

[Configure] > [Network Monitoring] > [Flow Monitor] を選択し、NAM-IP-ADDRESS を入力してから、[Enable] をクリックして、フロー モニタリングをイネーブルにします (図 4-1 を参照)。

図 4-1 フロー モニタの設定



前述のような WAAS CLI コマンドを使用して NAM へのフロー エクスポートをイネーブルにすると、WAAS デバイスが検出され、NAM の WAAS デバイス リストに自動的に追加されます。これらのコマンドは、クライアント側の応答時間分析のためにブランチ側の WAE で設定できます。

NAM での WAAS データ ソースの設定

NAM では、WAAS データ ソースを使用して、さまざまな WAAS セグメント（クライアント、クライアント WAN、サーバ WAN、およびサーバ）から収集されるトラフィックをモニタします。各 WAAS セグメントは、データ ソースによって表されます。NAM は、モニタリング対象の応答時間のメトリックに加えて、WAAS データ ソースの他のトラフィック統計情報（アプリケーション、ホスト、会話の情報など）をモニタして報告するように設定できます。

NAM VSB に WAAS データ ソースを設定するには、次の手順に従います。

- ステップ 1 NAM VSB GUI にログインします。
- ステップ 2 [Setup] > [Traffic] > [NAM Data Sources] を選択します。
- ステップ 3 [Create] をクリックします。
[NAM Data Source Configuration] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4 [Types] のリストから [WAAS] デバイスを選択します。
- ステップ 5 [IP] フィールドにデバイスの IP アドレスを入力します。
- ステップ 6 適切な WAAS セグメントのチェックボックスをオンにします。WAAS セグメントの詳細については、「[WAAS データ ソース（データ収集ポイント）](#)」(P.4-3) を参照してください。



(注) 次の手順は任意で、NetQos Super Agent などの External Response Time Reporting Console にデータをエクスポートするように NAM が設定されている場合にのみ適用されます。

ステップ 7 WAAS パススルー データを External Response Time Reporting Console にエクスポートするには、[Passthrough Response Time] チェックボックスをオンにします。



(注) WAAS パススルー データは、NAM による分析は行われません。

WAAS デバイスについては、[図 4-2](#)を参照してください。

図 4-2 WAAS デバイス

Device	Type	Activity	Status	Data Source	Data Source Details
172.20.110.245	WAAS	nam-auto-Core-WAE (00:1d:a2:...	ACTIVE	WAE-172.20.110.245-Passtru, WAE-172.20.110.245-Client, WAE-172.20.110.245-ClrWAN, WAE-172.20.110.245-SvrWAN, WAE-172.20.110.245-Server	
172.20.110.246	WAAS	nam-auto-Edge-WAE (00:1e:7a:...	ACTIVE	WAE-172.20.110.246-ClrWAN, WAE-172.20.110.246-Client, WAE-172.20.110.246-Passtru	
172.20.103.29	WAAS	No information	INACTIVE	WAE-172.20.103.29-Client	

237348

WAAS データ ソース (データ収集ポイント)

次の WAAS セグメントをモニタするように WAAS データ ソースを設定できます。

- クライアント：この設定では、モニタするために、そのクライアントから発生した元の (LAN 側の) TCP フローを NAM VSB にエクスポートする WAE デバイスを設定します。
- クライアント WAN：この設定では、モニタするために、そのクライアントから発生した最適化された (WAN 側の) TCP フローを NAM VSB にエクスポートする WAE デバイスを設定します。
- サーバ WAN：この設定では、モニタするために、そのサーバから発生した最適化された (WAN 側の) TCP フローを NAM VSB にエクスポートする WAE デバイスを設定します。
- サーバ：この設定では、モニタするために、そのサーバから発生した元の (LAN 側の) TCP フローを NAM にエクスポートする WAE デバイスを設定します。
- パススルー：この設定では、そのサーバ/クライアントからのパススルー (非最適化) TCP フローをエクスポートする WAE デバイスを設定します。

クライアント データ ソースのモニタリング

クライアントと WAE デバイス間の TCP 接続をモニタリングすることにより、次の ART メトリックを測定できます。

- クライアントで発生する合計応答時間
- クライアントで発生する合計トランザクション時間
- 最適化前の帯域幅使用 (バイト/パケット)
- トランザクションと接続の数
- クライアントからエッジとエッジからサーバの 2 つのセグメントに分割されたネットワーク タイム

WAN データ ソースのモニタリング

エッジとコア WAE デバイス間の TCP 接続をモニタリングすることにより、次の項目を測定できます。

- 最適化後の帯域幅使用 (バイト/パケット)
- WAN セグメントのネットワーク タイム

サーバ データ ソースのモニタリング

コア WAE デバイスとサーバ間の TCP 接続をモニタリングすることにより、次の ART メトリックを測定できます。

- サーバの応答時間 (プロキシ アクセラレーションまたはキャッシング サーバなし)
- コア WAE デバイスとサーバ間のネットワーク タイム

コア WAE からデータ ソースを設定することもできます。サーバ LAN、WAN、クライアント LAN から確認された、アプリケーションのパフォーマンスの分析に知見を提供するために、サーバ、サーバ WAN、およびパススルー データ ソースを追加できます。

**(注)**

NAM は、モニタリング対象サーバが設定されるまで、WAE からフローを受信しません。

NAM VSB での WAAS モニタリング対象サーバの設定

WAAS は、NAM VSB にエクスポートする必要があるフローを認識する必要があります。[Server Address] フィールドにサーバの IP アドレスを入力して、WAAS がそれらのサーバに関連するフローを NAM VSB にエクスポートできるようにします。これにより、NAM VSB が特定のサーバの応答時間をモニタできるようになります。

WAAS モニタリング対象サーバを設定するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** NAM VSB GUI にログインします。
- ステップ 2** [Setup] > [Monitoring] > [WAAS Servers] を選択します。[WAAS Servers] ページが表示されます。
- NAM に、すべてのデータ ソース (非 WAAS データ ソースも含む) のこのリストにあるサーバだけの応答時間データを計算させる場合は、[Filter Response Time for all Data Sources by Monitored Servers] チェックボックスをオンにします。その他のサーバはすべて、応答時間のモニタリングの点では無視されます。これにより、NAM の負荷を減らして、NAM 全体のパフォーマンスを向上させることができます。
- ステップ 3** [Add] をクリックします。
- [Add WAAS Server(s)] ダイアログボックスが表示されます。
- ステップ 4** [Server Address] フィールドにサーバの IP アドレスを入力します。複数の IP アドレスをここに貼り付けることができます。
- ステップ 5** [Submit] をクリックします。
-

WAAS モニタリング対象サーバの削除

WAAS モニタリング対象サーバ データ ソースを削除するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** [Setup] > [Monitoring] > [WAAS Servers] を選択します。
[WAAS Servers] ページに、モニタリング対象のすべての WAAS サーバが表示されます。
- ステップ 2** 削除するモニタリング対象 WAAS サーバを選択し、[Delete] をクリックします。
選択されている WAAS モニタリング対象サーバを本当に削除するのかの確認を求めるダイアログが表示されます。
- ステップ 3** [OK] をクリックして、WAAS モニタリング対象サーバを削除します。
-

